

# ウェブサイト制作事例

作成：2023年10月

## 略歴

九州芸術工科大学（現 九州大学）芸術工学部 工業設計学科卒。工業デザインと人間工学を学びました。

印刷会社・Web制作会社・広告プロダクション・CMS開発会社等を渡り歩き、Webサイト構築に関して工程の下流から上流まで幅広く経験しました。HTMLコーディング、デザイン、撮影、コピー、企画、情報設計、進行管理、予算管理、営業などの全体像を理解しています。

最初にウェブサイトを受注したのは1996年です。2016年からフリーランスとして活動しています。

## お問い合わせ

栗原直樹

qtvr@fullscreen.jp

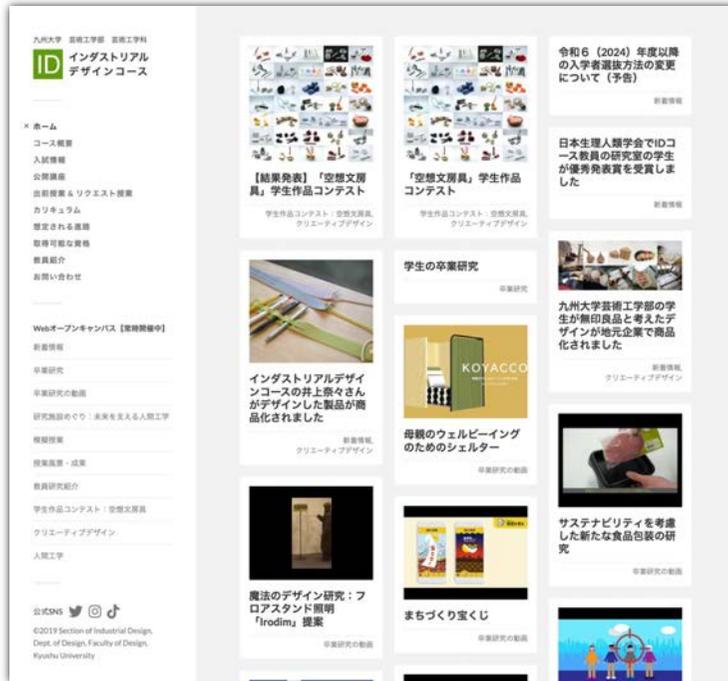
090-3666-6010

## プロデュース事例

# 強みを活かしたウェブサイトへフルリニューアル

私の母校、学科毎のローカルサイトのリニューアルを担当しました。受験生によりアピールするよう、強みを活かす施策を行いました。その年、**当該学科が九大の入試倍率トップ**に躍り出たのは、偶然ではないと思いたいところです。

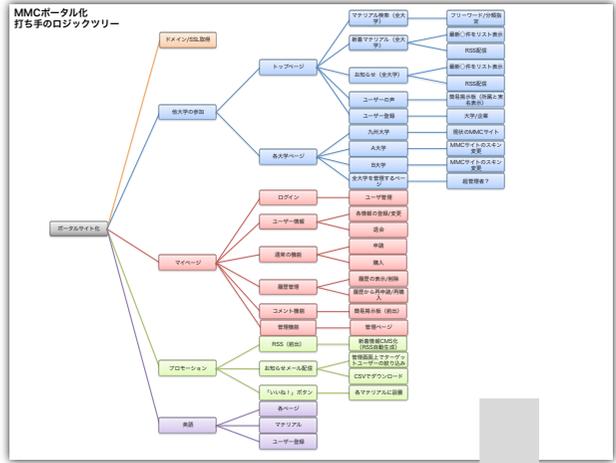
- 研究成果や学生作品などのデザイン性の高い写真や、施設に関する情報が埋もれた状態だったので、それらを前面に出しつつ、また**写真が生きるシンプルなサイトデザイン**としました。費用の面から既存のテンプレートを採用し、カスタマイズしました。
- オープンキャンパスというページに情報が偏っていました。しかしこのサイト全体がヴァーチャルなオープンキャンパスであると捉え直し、**サイトの構成を練り直しました**。
- WordPressを採用、各種の設定を行い、複数担当者が**いつでも情報更新できる環境**を構築しました。また旧サイトからの情報の移管も行いました。



<https://www.idc.design.kyushu-u.ac.jp/>



要件定義の段階の資料例



プロデュースとUI設計事例

# マテリアルを交換するポータルサイトの設計

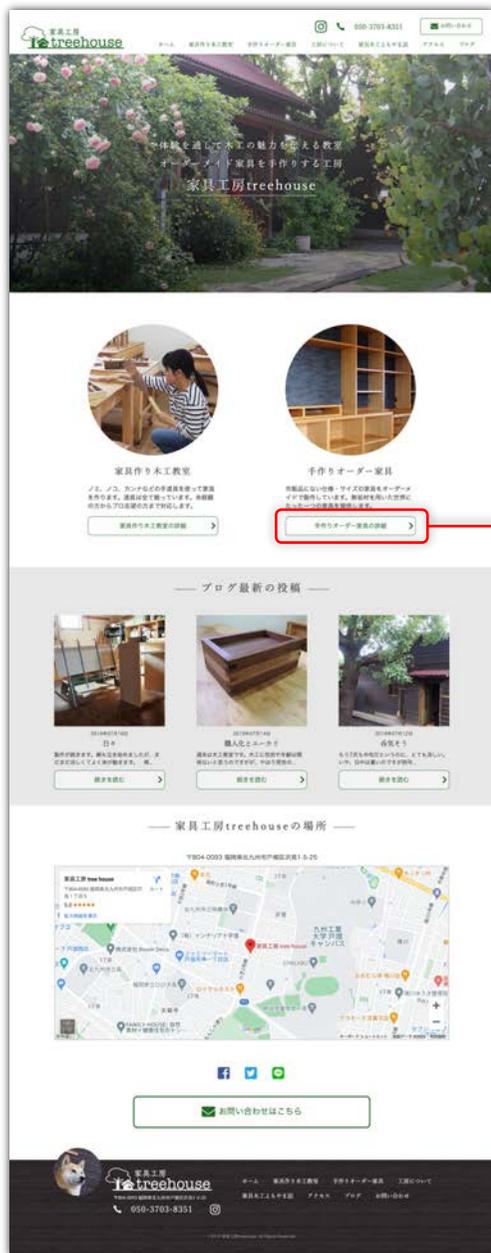
九大農学部系の有体物管理センターのウェブサイトです。平たく言うと、有体物（マテリアル）の売ります買いますサイトです。研究者（個人）の登録と権限、マテリアルの登録、各大学の登録と権限、管理者＝有体物管理センターの権限、これらを設定して操作するための画面を考案しました。

- プログラマー同行のうえ依頼主へのヒアリングを重ね、要望を聞き取り実現したいことの要件をまとめました。
- 要件を元に画面遷移図を作成し、プログラマーのレビューと依頼主との打ち合わせを繰り返しました。その結果、左図の資料は5回ほど改定し、63ページに達しました。設計フェーズ終了後はプログラマーへ業務を引き継ぎました。

画面遷移図の資料例



<https://mmc-u.jp/>

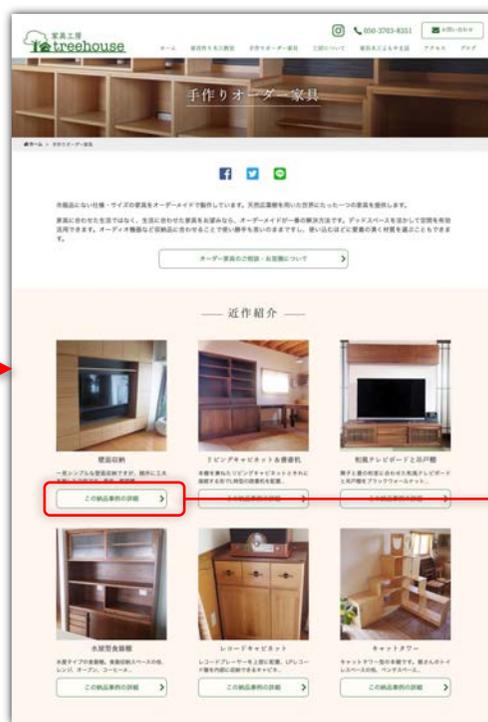


## プロデュース～フルスタック事例

# イメージアップと検索エンジン対策の両立

家具職人のご本人自らホームページビルダーを使ってサイトを手作りしていましたが、労力的にも見た目にも限界が来ていました。また無料のブログサービスを使っていたため、アクセスが分散していました。WordPressを使って作品実績もブログも一貫して更新できるようにしました。

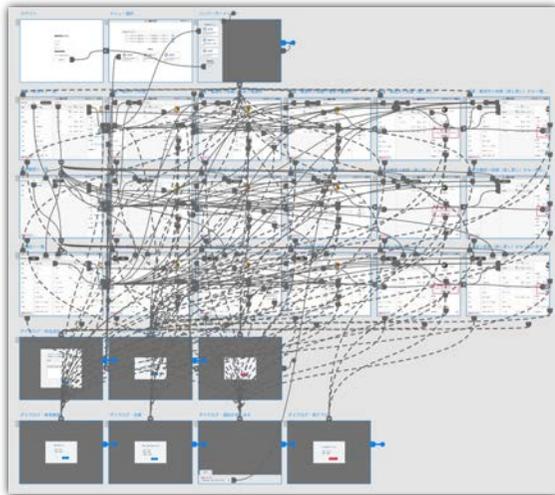
- ・ レンタルサーバの手配、ドメインの移管、ページデザイン、ロゴデザイン、コーディング、WordPressへの組み込み、サイト更新方法のレクチャー等々、**サイトの構築と運営に必要なもの全てを提供**しました。
- ・ 「北九州 木工教室」「北九州 オーダー家具」などの**ご希望の検索キーワードでGoogleに上位表示**されるようになりました。商売繁盛しているようです。



<https://treehousetobata.net/>

ブログだけでなくオーダー家具の制作事例も、WordPressを使って格段に更新しやすくなりました。

各画面の行き来の関係性

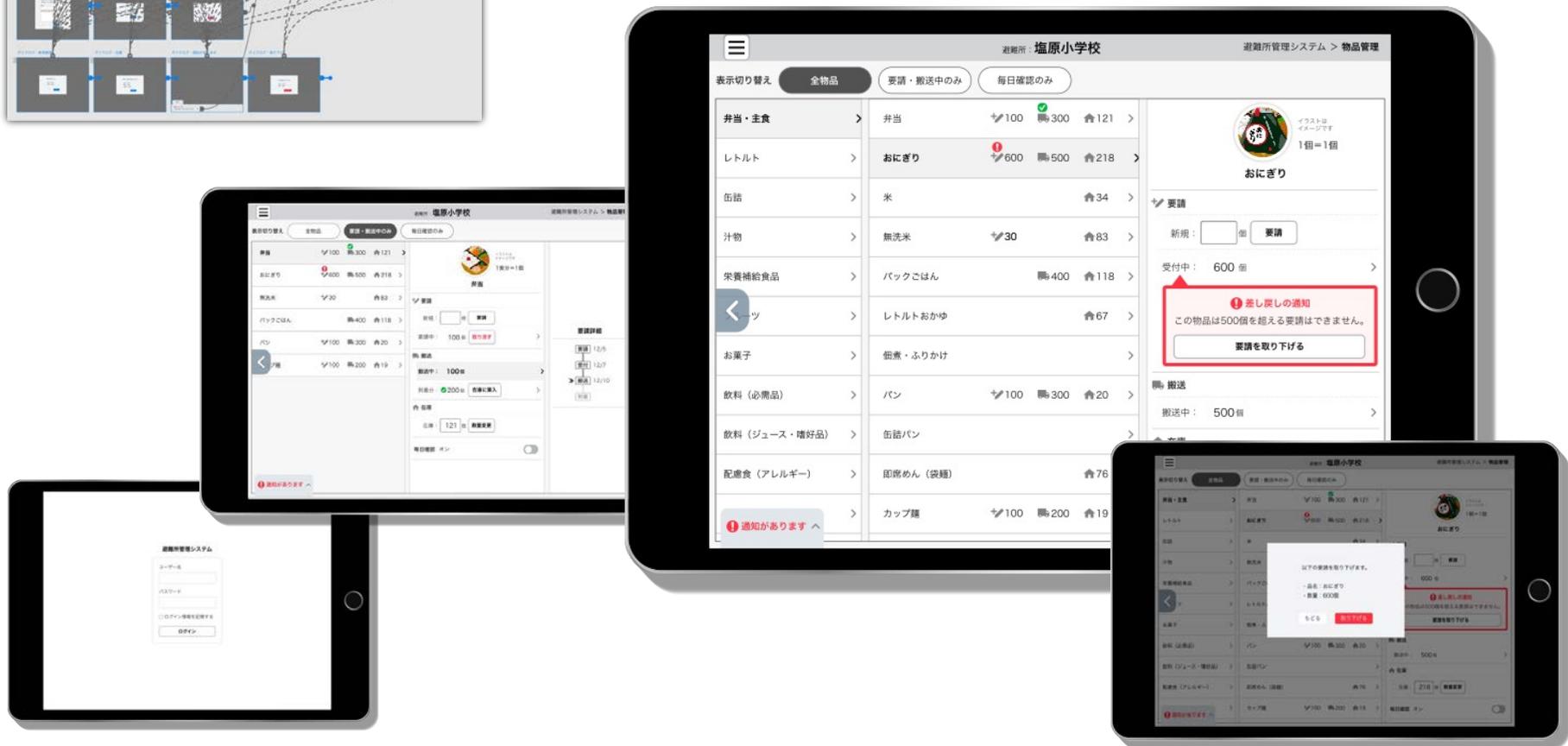


## UI設計事例

# タブレット端末向けウェブアプリケーション設計

災害が発生した際の避難所において、必要な物品の管理と発注を行うためのシステムのユーザーインターフェースを設計しました。タブレット端末の利用を想定しています。Adobe XD を用いており、以下URLにて**実際にボタンクリックしながら使い勝手を確認**することができます。

<https://xd.adobe.com/view/2dfce012-1115-43a1-9bc3-6b2afad0b18d-78af/>





完成稿だったラフ

表1 - 表4

コピーライター事例

高度IT製品のパンフレット

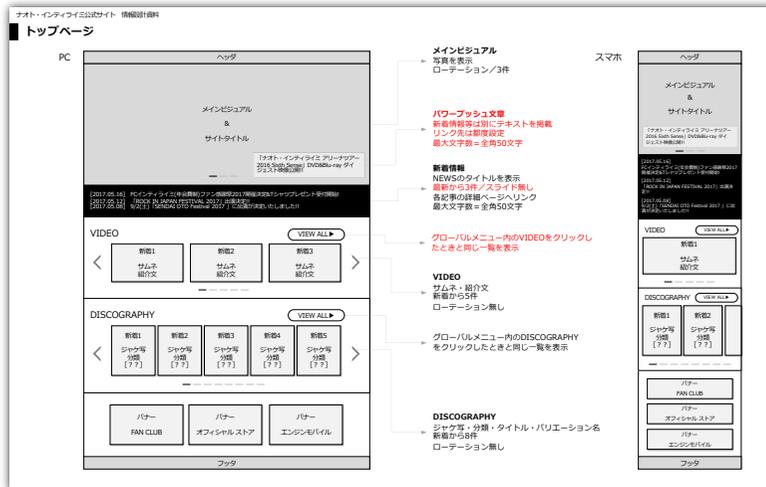
マイクロソフト社の看板製品とも言える **Visual Studio** の販売店向けパンフレットの制作を担当しました。プログラミングに詳しくない販売店の営業マンへ向け、開発ツールとサブスクリプションの理解を促進させることが目的です。

過去の膨大な資料を読み込み、マーケティング担当者への長時間ヒアリングを経て、**キャチコピー的な見出し、リード文、本文と図解を考案**し、ラフの形にまとめて提案。何度もやりとりを重ねて仕上げていきました。特にキャチコピーは当初から好評でした。私はあくまでウェブ担当なので、この段階で印刷が専門のアートディレクターへと引き継ぎました。

結果、アートディレクターが内容を改悪してしまいました。引き継ぎが甘かったことが慚愧に堪えません。

デザインの例 (P3-P4)

## ワイヤーフレームの例



## ディレクション事例

# ナオトインティライミ公式サイト

バックパッカー時代にPLOのアラファト議長の前で歌ったという大胆な伝説をもつアーティスト、ナオトインティライミさんの公式サイトディレクションとコーディングを担当しました。制作の方向性は見えており、デザイナーもアサインされていたのですが、**進行役が不在**でしたので、コーディング担当としてアサインされていたのですが、**ディレクターの任も同時に担う**こととなりました。

- Adobe Flash という終了した技術で作り込まれた旧サイトから、コンテンツを抜き出し新サイトへ移行しました。
- サイト構成を考案し資料化。ワイヤーフレーム（17ページ）を用いて画面遷移と、ディレクトリーとファイル名一覧等を用い、齟齬のないよう関係者と共有しました。
- スケジュール表の作成と制作進行管理を行いました。
- レスポンシブに対応したコーディングを行いました。
- WordPressの更新手順（16ページ）を作成しました。

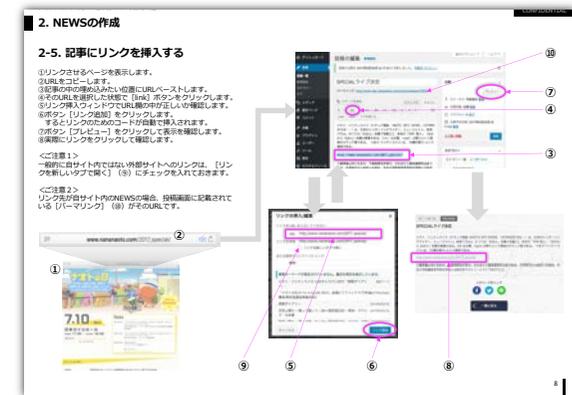
## 公開当初のサイト・PC表示



## スマホ表示



## WordPress手順書の例



<https://www.nananaoto.com/>



## コンテンツマーケティング事例

# 分かりやすくニッチな技術を丁寧に解説するだけで営業力が上がる

フォントワークス(株)という会社で、組み込みシステム向けという特殊なライセンス形態のフォントの営業担当でした。ニッチな市場ということもあり、当時の自社サイトにはほとんどコンテンツがなく、営業につながるウェブサイトからのお問い合わせは多くありませんでした。

そこで、組み込みエンジニアやUIデザイナーに向けて、**有用で中立的な内容でのコンテンツマーケティング**を仕掛けることにしました。1年くらいはかかりましたが、「組み込みフォント」というキーワードで**Google検索順位圏外だったものが2位3位に同時に食い込む結果**となりました。

だからといって売上が大幅に増えたわけではありませんが、営業をしていく中でこのサイトが役立ったことを実感しました。営業マンが企業を訪問すると「売り込みに来やがった」と身構えるのが人情かと思います。しかし、事前にこのサイトを見る勉強熱心なエンジニアさんの反応は「フォントメーカーの中の人に来てくれた」という180度反転したものとなり、**商談が格段に捗る**のです。

